



N電が走る風景1（四条通） 昭和36年7月 吉岡 義彦さん

私の実家は西洞院通松原にあり、小さいころから家のすぐ近くを走る市電を見て育ちました。そのせいか「カメラ」と「電車」が私の趣味となりました。

写真は四条西洞院の停車場です。この場所は四条通を走る広軌の市電と、堀川通を上がる狭軌の市電がレールを共有しており、珍しい3本レールとなっており、電車のサイズも違ってきます。

今、写真を見ると、狭い停車場は道路の中程にあり、横断歩道もないため、渡るのも待つのもかなり危険でありましたが、当時は安全対策がおおらかな時代の中で、各自が注意していたのかなと思いました。

停車場の市電は通称N電（北野線）です。京都駅と北野天神の間を走っていました。急増する自動車の波に押されN電が廃止となったのがこの月の末となりました。

写真の向こうには、祇園祭の月鉾が見えます。道路上には架線があるので、鉾が通過する通りでは作業員が架線を一時外していました。



写真上 横断歩道もなく通りを渡るのもスリルがいっぱい。みんな手をつないでいます。

写真下 待ち客であふれる停車場。市バスの横ギリギリを歩くご婦人。

